



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名 菊水化学工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 7953 URL <http://www.kikusui-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 均

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 稲葉 信彦

TEL 052-300-2222

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,515	13.6	264	148.6	290	162.4	160	280.7
2019年3月期第2四半期	10,136	1.4	106	△31.8	110	△26.5	42	△40.2

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 19百万円 (△16.3%) 2019年3月期第2四半期 22百万円 (△88.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	12.82	—
2019年3月期第2四半期	3.36	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,945	9,249	51.0
2019年3月期	18,253	9,342	50.6

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 9,151百万円 2019年3月期 9,238百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
2020年3月期	—	8.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	9.00	17.00

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

2. 2020年3月期の第2四半期末配当金の内訳 :普通配当 7円00銭 記念配当 1円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	7.2	430	55.4	399	42.8	205	43.0	16.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	12,744,054 株	2019年3月期	12,744,054 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	234,895 株	2019年3月期	234,895 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	12,509,159 株	2019年3月期2Q	12,509,160 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用状況の改善などを背景に、景況感は小幅改善で推移しております。

しかし、不安定な海外情勢や人手不足の深刻化や消費増税の懸念など、国内の景気の先行きに関しては、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような状況の中、当社グループは、「下地から仕上げまでの総合塗料メーカーをめざす」を経営方針として掲げ、良い伝統を築いていく所存です。

当第2四半期連結累計期間においては、耐久性に優れたフッ素樹脂塗料の認知度アップを図るべく「フッ素はキクスイ」、異常気象対策として省エネ効果が期待できる断熱セラミック塗料「キクスイガイナ」、改修市場における、汎用シリコンNo.1品質にグレードアップした主力製品「水系ファインコートシリコン」、石綿含有建築用仕上塗材に対する環境配慮型剥離剤「キクスイSPリムーバーエコ」など、環境への配慮や社会的な課題解決に向けた取り組みを意識し、継続して社会の役に立つ製品群の普及・提案活動を図ると共に、消費増税前の駆け込み需要もあり堅調に推移しました。

工事においても、安全・品質管理および施工体制の更なる強化と整備を行い、シェア拡大に努め、戸建住宅の改修工事では、顧客の皆さまからフッ素樹脂塗料「デラフロン」シリーズをはじめとした高付加価値製品でのご指名も、堅調に消費増税前の駆け込み需要と合わせて頂くことが出来ました。

又、非住宅では、防耐火や石綿含有建築用仕上塗材の除去など、特殊工事のご依頼に対応させて頂きました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績として、連結売上高は115億15百万円と、前年同四半期と比べ13億78百万円の増収となりました。利益面におきましては、連結営業利益は2億64百万円と、前年同四半期と比べ1億58百万円の増益、連結経常利益は2億90百万円と、前年同四半期と比べ1億79百万円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億60百万円と、前年同四半期と比べ1億18百万円の増益となりました。

なお、当社グループは、製品販売・工事の単一セグメントのため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、179億45百万円（前連結会計年度末比3億7百万円減）となりました。

これは、主として受取手形及び売掛金が2億92百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、86億96百万円（前連結会計年度末比2億14百万円減）となりました。

これは、主として社債が98百万円、短期借入金が1億17百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、92億49百万円（前連結会計年度末比93百万円減）となりました。

これは、主としてその他有価証券評価差額金が1億8百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日に発表いたしました業績予想と変更はありません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手できる情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,748,066	3,726,714
受取手形及び売掛金	5,748,386	5,455,909
商品及び製品	781,975	717,259
仕掛品	285,772	335,643
原材料及び貯蔵品	372,281	402,959
その他	329,661	420,047
貸倒引当金	△25,208	△24,515
流動資産合計	11,240,936	11,034,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,056,851	2,038,585
機械装置及び運搬具(純額)	567,700	538,829
土地	1,255,537	1,255,537
建設仮勘定	2,700	6,910
その他(純額)	63,273	82,035
有形固定資産合計	3,946,062	3,921,899
無形固定資産		
その他	342,307	312,012
無形固定資産合計	342,307	312,012
投資その他の資産		
投資有価証券	2,146,310	2,017,868
繰延税金資産	186,430	238,918
長期預金	210,000	210,000
その他	156,566	194,912
貸倒引当金	△1,531	△3,706
投資その他の資産合計	2,697,776	2,657,994
固定資産合計	6,986,147	6,891,905
繰延資産	26,027	19,191
資産合計	18,253,111	17,945,114

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,538,775	3,548,100
短期借入金	1,367,774	1,250,000
1年内償還予定の社債	197,200	197,200
1年内返済予定の長期借入金	113,940	160,004
未払法人税等	190,901	149,578
賞与引当金	37,367	77,316
完成工事補償引当金	-	9,553
その他	981,408	993,915
流動負債合計	6,427,368	6,385,668
固定負債		
社債	923,800	825,200
長期借入金	548,499	459,739
役員退職慰労引当金	86,880	86,880
完成工事補償引当金	79,071	107,341
退職給付に係る負債	495,061	498,132
その他	349,818	333,053
固定負債合計	2,483,132	2,310,346
負債合計	8,910,500	8,696,015
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,972,735	1,972,735
資本剰余金	1,670,795	1,670,795
利益剰余金	5,543,404	5,591,286
自己株式	△118,412	△118,412
株主資本合計	9,068,522	9,116,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	372,069	263,282
為替換算調整勘定	△211,909	△237,535
退職給付に係る調整累計額	9,521	9,072
その他の包括利益累計額合計	169,682	34,820
非支配株主持分	104,405	97,872
純資産合計	9,342,611	9,249,098
負債純資産合計	18,253,111	17,945,114

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	10,136,940	11,515,502
売上原価	7,729,278	8,833,366
売上総利益	2,407,661	2,682,135
販売費及び一般管理費	2,301,083	2,417,169
営業利益	106,578	264,965
営業外収益		
受取利息	2,118	2,005
受取配当金	28,380	19,203
仕入割引	332	341
為替差益	-	9,843
その他	9,033	21,122
営業外収益合計	39,865	52,516
営業外費用		
支払利息	8,131	7,314
売上割引	4,963	4,040
為替差損	6,800	-
支払手数料	8,802	5,857
その他	6,959	9,581
営業外費用合計	35,658	26,794
経常利益	110,786	290,688
特別損失		
固定資産除却損	5,864	586
特別損失合計	5,864	586
税金等調整前四半期純利益	104,921	290,101
法人税等	67,209	133,592
四半期純利益	37,712	156,509
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,436	△3,955
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,149	160,465

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	37,712	156,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,562	△108,787
為替換算調整勘定	△38,715	△28,203
退職給付に係る調整額	236	△448
その他の包括利益合計	△14,916	△137,438
四半期包括利益	22,795	19,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,727	25,603
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,932	△6,533



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	104,921	290,101
減価償却費	193,090	201,860
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,687	3,070
貸倒引当金の増減額(△は減少)	815	1,481
賞与引当金の増減額(△は減少)	36,483	39,948
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	12,603	37,823
受取利息及び受取配当金	△30,498	△21,208
支払利息	8,131	7,314
固定資産除売却損益(△は益)	5,864	586
売上債権の増減額(△は増加)	△35,320	281,344
たな卸資産の増減額(△は増加)	68,745	△18,329
仕入債務の増減額(△は減少)	△460,236	20,312
未払費用の増減額(△は減少)	39,733	72,808
その他	210,745	△233,606
小計	153,390	683,507
利息及び配当金の受取額	19,487	14,851
利息の支払額	△8,152	△4,971
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△66,057	△169,232
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,667	524,154
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	72,497	△2
有形固定資産の取得による支出	△144,081	△139,912
無形固定資産の取得による支出	△2,837	△3,931
投資有価証券の取得による支出	△796	△41,465
その他	10,811	863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,406	△184,448
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△117,846
長期借入れによる収入	132,640	-
長期借入金の返済による支出	△42,680	△42,688
社債の償還による支出	△98,600	△98,600
リース債務の返済による支出	△1,896	△31,616
配当金の支払額	△97,414	△97,320
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107,951	△388,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,235	27,010
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△57,454	△21,354
現金及び現金同等物の期首残高	3,130,816	3,412,659
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,073,361	3,391,305

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<p>国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。</p> <p>これによる当第2四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。</p>

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの事業セグメントは、「製品販売・工事」事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。